

2023 SUMMER

Outreach Report

@埼玉 飯能キリスト教会



8/5 (sat) ~ 8/14 (mon)

CFNJ 聖書学院



2023 年飯能キリスト教会 アウトリーチレポート

普段から祈り、支え、学生に主の愛を注いで下さっている皆様方へ

【はじめに】

今回のアウトリーチに関しての概要から皆様に記載させていただきます。埼玉県飯能市にある飯能キリスト教会が主催された4日間の宣教大会があり、私たち CFNJ 聖書学院の学生7名は泊まり込みで、働き手として参加をさせていただきました。依頼された働きの内容は、当日の大会運営、参加者のカウンセリングや霊的なケアがメインでした。大会の主催者は、飯能キリスト教会の主任牧師である中澤イサク牧師です。中澤牧師は霊的戦いの領域で世界的に著名なカルロス・アナコンディア氏の通訳を務め、約10年前まで同氏を招き、ご自身でも定期的に日本で救いと解放のミニストリーの宣教大会を企画しておりました。約12年ぶりに大会を企画するように主に示され実行に至ったそうです。今回は教会に人を招くスタイルではなく、地元の方が来やすいホテルのボールルームを貸し切り、主への応答をするという宣教への強いコミットを感じられる大会となりました。経済的なしるしも伴い主からの確かな後押しを受けた牧師は、主催されるにあたり有難いことに過去に関係性があった私達 CFNJ 聖書学院にサポートの依頼を出して下さいました。

4日間開催された宣教大会だけでなく、準備期間も含めて学生7名は10日間埼玉の飯能に集まりました。私達を送り出して下さった副学院長の鍛冶川紀子先生からは「1人の失われる魂を救うために人間がここまで人生をかけていいんだということを感じてほしい」と私達学生に声をかけられ、参加の意義をお伝え下さいました。

結果その言葉通り、大会当日は自宅に届いた宣教大会のチラシを見た右も左もわからない未信者の方が大会に足を運ばれ、まさにイエスキリストの福音をそのまま伝えるダイナミックな現場を拝見させて頂きました。イサク牧師の伝道はまさに「イエス様の弟子が行なった伝道そのまま」です。まさに聖書でした。罪を明示し、悔い改めを促し、悪霊を追い出し、受け入れた方への聖霊の授けまでを行い、神の家族として新たな信徒を教会へと迎え入れておられました。教会に関係者がいるわけでもなく、初めて福音を聞く方が何名もいらっしやり、中には家族連れで大会にお越し下さる方もいらっしやいました。私達神学生も非力ながら、大会そのものに傍観者ではなく、主催者の一部として、賛美奉仕、未信者の方との交わりや、小規模ながらもカウンセリングを行なった学生もおりました。

今回のアウトリーチに参加した7名の学生が、それぞれ神から与えられた役割のもと、感想、恵み、証をレポートに記載しております。短い文章にはなりますが、目を通して頂き、学生の成長と、強固な土台が据えられた信仰の家が少しずつ完成されている様を感じて頂けると幸いです。

【スケジュール】

- 8月5日: 飯能到着
- 6日: 主日礼拝・決起祈り会
- 7日~8日: 大会準備~解放のミニストリーレクチャー
- 9日~12日: 宣教大会本番
- 13日: 主日礼拝・感謝礼拝
- 14日: 解散

柏原 龍馬

1. 参加をした感想や印象に残っていること

今回のアウトリーチには、私は妻と2人の子供を実家に預けての参加となりました。家族と10日間離れ、1人参加することは自分自身非常にセンシティブな感情となりましたが、学院から責任者として依頼を受けている兼ね合いもあり、妻と2人でよく祈り、主からの後押しがあり、今回のアウトリーチに臨みました。結果参加をしたことで、天の父、イエス様、聖霊様との関係性がまた深くなり、より一層神の蒔いた種の収穫を共にイエス様とする働き人として整えられたように感じます。私は全体のリーダーとして学院のみんながそれぞれ働き手として、素晴らしい恵みを受け取るサポートができればと第一に考えました。普段から生活を共にしているとはいえ、信仰の文化が全く違う20歳から50歳までの男女(男女は宿舎が別に用意してありました)が10日の間、宣教のある意味ど真ん中、聖書通りの悪霊の追い出しと福音伝道のサポートやカウンセリングまでを行うのは、正直ハードな10日間になると覚悟しました。学院ではそれぞれ目的も目標も違う神学生が生活を共にすることで、聖書にある原則やイエスキリストのゆるしそのものを体験することで信仰の土台を建て上げていくことを目的としているため、ここまでハッキリとした働きは、一部の学生にとってはカルチャーショックでもあったのです。まずは様々なモチベーションで参加する学生が、できるだけ安心感を持ち、期待感を持てる状態で参加ができるように、大会の5ヶ月前の今年の3月に春休みの帰省を利用し、飯能キリスト教会へ、家族と実習チームである仲井恵姉妹と出向き、主催者であるイサク牧師との交わりからスタートをしました。その際に牧師へのインタビューを敢行し、素直に学生が持つであろう疑問、全く違う文化を持つ信仰の兄弟が誤解し拒絶をする可能性がある領域に関して詳細な説明を求めました。春休みを終え、学院に戻り、その内容を動画でシェアをする所から、実習長としての仕事はスタートしました。その後学生全員と牧師の交わりの時を何回か設け、積極的な学生は教会の祈り会にオンラインで参加して頂くなど、それぞれの霊的状态を見定めて環境設定をして、アウトリーチ当日に全員で臨みました。現地に行ってからとはとにかくみんなが楽しく、働きと休息のバランス、そして毎日霊的にも、ある意味現実的な側面でも「満たされた状態」リラックスした状態で「聖霊様が働きやすい環境作り」を設けられるように努力をしました。基本的には自炊でしたので、食事や生活をする上での環境設定、牧師とのコミュニケーションを踏まえて、良い空気を楽しめるように努めました。もちろん自分には至らない点も数多くあります。しかしみんなが私以上に積極的に全てにおいて参加をしてくれました。全員が主体的に、自分ができる範囲をよく見極めて、参加してくれました。僕自身も10日間本当に楽しく、この7名でアウトリーチにいて本当に幸せでした。信仰の家族は本当に素晴らしいなと感じられたのが最も強い感想です。

2. 受けた恵み

イエスキリストは今も生きていることの強い確信です。そしてこの地上ができるその前から今にかけて聖霊様は働かれているという確信がありました。イサク牧師は良い意味で聖書に書かれてあることしか行いません。イエス様は悪霊を追い出し、癒し、救いを述べ、罪からの悔い改めを促し、弟子として育てています。シンプルにこれだけだと思います。牧師も同様に、シンプルにこれしか行いません。そして未信者の方にこれを行うのです。小細工は無しです。本来宣教大会では、未信者を招くために、何か企画(コンサートや人の集まりやすい企画)をするのがむしろポピュラーではないでしょうか?何かの企画をして、教会に少しずつ触れさせ、どこかのタイミングで伝道する。私はそれも素晴らしいと思います。しかし牧師は直球です。しかも宣教大会と銘打ったものに果たして人がそもそも来るのか?そのことが疑問でした。蓋を開けると、予想を裏切り、未信者の方が何名も当日会場にいらっしやったのです。そしてシンプルに神の言葉と聖霊の促しによって、罪を悔い改め、救いを受け入れ、その週の礼拝にまで参加されたのです。聖書に書いてある内容がそのまま目の前に現れました。もちろんイエス様は動き回られていました

が、会堂に人を集められてそれを行った経験も当然何度もあります。イエス様は場所を問わずに人々を導いていました。まさにイエス様がいたと確信しました。

3. 証

私自身、実は一つのビジョンが与えられました。これは自分自身の土台にあるイエスキリストの似姿に作り替えられるという召から、もう一步先に踏み出すものでした。それは自分達の家族を中心とした、肉的な孤児、霊的な孤児を育てるということです。聖書は家族の祝福を明確に示しており、アブラハム、イサク、ヤコブの神である主は部族の繁栄と、それを契約として、肉的なユダヤ人がユダヤ人ではなく、イエスキリストを信じる霊的なユダヤ人を家族に迎え入れ、その契約を成就させて下さいます。私は妻や子供が本当に大好きです。先日初めて家族礼拝を行ったんですが、究極の祝福でした。実は私自身が神学校に導かれるきっかけになったのも、神学校で影響を受けている牧師も、不思議と「家族の繁栄や礼拝がスタート地点で、結果祝福が波及し、信徒の牧師となり、教会が建て上がる」という方ばかりです。母教会で受けた預言も「家族」と「日本のリバイバルの中心となる」でした。何かその上でどのような方向性に進んでいくのか、その証として、肉的な孤児、霊的な孤児に対してその祝福を流すよと、神様から語りかけられた気がしました。宣教大会が始まった2日目の午前中、兄弟2名と祈っている時にそのビジョンが与えられました。

中澤牧師がジョージミュラーのことを何度か語り、私自身も、影響を受けた信仰の先輩が彼なのでそれも相まってのことかと思います。神様に「この宣教大会で私に必要なことを語って下さい」と祈っていたので、このようなビジョンが与えられたことは驚きでしたが、神は明確に僕達家族単位での確かな計画を持っているという証を持ってこのレポートを終えたいと思います。お読み頂きましてありがとうございました。



イラスト: 塙茂樹

埴茂樹

1. 参加をした感想や印象に残っていること

私は4月に学院への急な参加者となり、まだ慣れない学院生活の中で、今回は地元に近い飯能の地で奉仕出来たことで、より地域の事を知ることが出来たことも感謝しています。私は福音派の保守的な教会に所属しているので、霊的な現象の現れの強い働きへのアプローチはほとんどありませんでした。個人的には霊の働きが実際にも顕著に現れるタイプではありましたが、それは救われた結果のものであって、個人的にもそれを救いへのアプローチと捉えたり、考えることはありませんでした。実際に参加させて頂いてその視点は変わらないものでしたが、やはり、霊的な現象に関わらず、信仰を告白させる神の霊の御業を見させて頂く機会となり、神の成さること全ては本当に素晴らしいものだと思われています。集会へ来場くださった方は人数から見れば決して多くはなかったですが、来られた方が主によって集められたいのちであった事を改めて知ることが出来ました。中澤先生を通して現れたイエス・キリストの働きと情熱を感じられたこと、日本ではあまり感じる事が出来ない感情的で熱い直球のメッセージが、とても印象に残りました。学生の皆も元気に積極的に動いていてとても頼もしい存在でした。

2. 受けた恵み

学院へ導かれた目的でもあった心身や状態の回復が個人課題としてはまだまだある中で、疲れや状況など自分の考えや心は回復される必要がありましたが、こうして参加できた事と、急に賛美奉仕にも加えてくださり、行いうれしさを備えて下さったことを大変感謝しています。自分や周りがどのような状態でも主は働いてくださり、救いを起こさせる力となっている事を改めて思われています。個人的にはあまり積極的な関わりが持てるような状態ではありませんでした。自らの力を超えて主が働いて下さったこと、自らの罪深さや弱さの中でこそ主の恵みが十分にある事を受け取りました。

3. 証

まだ自分がここに置かれていることが主の憐れみの証となっているのだと思います。沢山の助けに感謝しています。

ロケ ジョシュ 輝

1. 参加をした感想や印象に残っていること

今回、最初から最後まで、飯能教会全体で、自分が思っていた以上に良い扱いを受けさせてもらいとても感謝でした。特に印象に残っていることは、信徒の方々の神様に対するストレートな姿勢です。信徒の熱い、純粋な思いがそのまま神様にストレートに伝わり、神様もそれに応答してくださっていることがとても伝わりました。

2. 受けた恵み

今回、恵みだらけのアウトリーチでしたが、特に受け取ったことは、未信者の方が救われる瞬間を3回も、教会以外で見ることができたことです。普段、見ることが少ないので、とても印象に残っています。そして、イサク先生、信徒の方の神様に対する姿勢、それに対する神様の応答から流れたものが僕にも降りかかってきて、とても励みになりました。

3. 証

初日の集合から、最後の解散まで、神様が全てにおいて覆っていてくださっているのを強く感じました。スムーズに集会も始まり、未信者の方が信仰告白し、その週の教会に参加していた瞬間を生で見れたことは、とても励みになりました。日に日に神様が新しい奇跡を僕たちに与えてくださり、この集会にはとても意味があったことがわかりました。そこにメンバーとして加えてくださったことにも深く感謝しています。

支えてくださった、イサク先生、信徒の方々、残って取りなして下さっていた先生方、生徒の皆さん、そして神様に感謝します。



秋山耕平

1. 参加をした感想や印象に残っていること

今回のアウトリーチに参加しての率直な感想は、一人の失われた霊のためにここまで仕えられている先生と共に奉仕できたことがとにかく嬉しかったですし、とても良い刺激を受けました。また教会の皆さんもそれぞれの役割を果たし、主にあって一致し、この宣教大会に臨んでおられるなと感じました。この教会の姿を見てコリント人への手紙で書かれているキリストのからだの話を黙想していく中で本当の一致とは何か考える良い機会になりました。またイサク先生のお話の中で今までにポスティングしたチラシの数、また三回に分けて行ったと言われていた新聞の折り込みによる宣伝の話を聞いていると正直に「なぜここまでできるのか」と思いました。しかし、宣教大会の初日に一人の未信者の方が信仰告白をし、もう一人教会に行ってはいるけど、本当のクリスチャンになりたいという強い思いを持った二人の方が、イエス様を受け入れる決心をされました。それを見た時、天で大きな喜びが起こっているのをとても強く感じました。また先生はこの為にあれほどの宣伝をし、救われるべき霊のために奉仕されてたのだなと思った時本当に感動しました。

2. 受けた恵み

聖霊が働くとき普通では考えられないようなことが起こるということを身をもって体験しました。今までポスティングで教会のイベントに誘うということは母教会で何回もやってきましたが正直チラシを見て来たという人はほとんど会ったことがありませんでした。その経験から「チラシを見て来る人っているのかな」という思いもありました。今回の宣教大会、初めて来られた方はみんなチラシを見て来られたと聞きました。また今回は信仰告白まではできなかったけど親子四人で来られていたファミリーもありました。人間的に見ると反抗期くらいの年齢の子ども二人が親とこのような集会に来るのは普通では考えられないことでした。

ですから、あなたがたに次のことを教えておきます。神の御霊によって語る者はだれも「イエスは、のろわれよ」と言うことはなく、また、聖霊によるのでなければ、だれも「イエスは主です」と言うことはできません。[コリント人への手紙 第一 12：3]

この箇所に明確に書いてある「聖霊によるのでなければだれもイエスは主ですと言うことはできません」本当に聖霊が今、必要な人に働いてくださって参加者が与えられたのだなと感じることができました。

3. 証

今回のアウトリーチを終わってから振り返ってみるととにかく「神様の働きを明確に見ることができた、体験することができた」期間でした。今までも「もっと神様について深く知りたい、体験したい」と祈っていた結果が今回のアウトリーチだったと感じます。神様が働かれるとこんなに想像より上のことが起こるんだということが体験できたし、紀子先生からアウトリーチ前に言われていた失われた霊のためにここまでやっていいんだということも見ることもことができました。またイサク先生の神様に仕える姿を見てとても刺激を受けました。

今回のアウトリーチを通して本当に多くの恵みを受け取りました。今度はこれをまた他の人に流していける器になって行きたいと思いました。

全ての栄光を主に返しします！！

北坂 信頼

1. 参加をした感想や印象に残っていること

今回最も印象的だったのは、主催された中澤イサク先生の捧げる姿勢と、教会全体で祈る姿勢でした。過去様々な働き人の通訳として働いてこられ、海外では華々しい働き人と働きを共にし、主の御業を体験しながらも、埼玉の飯能という地で何十年と地道に忠実に仕え続けたイサク先生の姿勢、そして今回もう一度、神様の声に応え、安全な場所を出て未信者に福音を届けるために信仰を持って立ちあがられた姿勢に感銘を受けました。また、毎日宣教大会のチラシを見てきたという新しい方が来られ、(文化としてのキリスト教に触れたことのある方もおられました。が、教会や集会が初めてという方も来られていました。) 救いを受け入れる方や、神様に再度立ち返る決心をされる方が起こされました。これまでの私の経験やイメージからは、そのようなチラシを見て全く初めての方が来られること、またその場で信じる決心をされることは想像できず、イサク先生が神様に従って歩み出し、教会の方々や多くの方々が共に祈る時、神様が祈りに応えておられる様子を見ることができました。イサク先生も、長年共に働かれたアナコンディア先生の言葉として、命をかけて神様に捧げるならば、神様が働かれると仰っていましたが、そのように神様が働かれておられるのだと感じられました。

2. 受けた恵み

本気で捧げる働き人と共に働く時に、その方を通して、またその働きの中で神様から多くの恵みが注がれることを体験しました。毎日新しい方が来られるように、また来られた方に神様の働きがあるようにそれぞれ祈りながら出ていく時、神様から様々な促しや気づきが与えられました。また、イサク先生のこれまでのご経験から発される一言一言や、働きの姿勢から多くの学びがありました。集会の場でも、奇跡としか思えないような出会いがいくつかあり、また、関わる相手に対して、自分でしかアプローチできないような人に神様が出会わせてくださったという場面がいくつかありました。チラシを見て、キリスト教は全く初めてで集会に来たが、集会でびっくりしてしまって宗教は嫌だと足早に帰ろうとしていた方と、最後にお話しし、お祈りしてもう一度心開いて下さったり、細かく内容は書けないのですが、様々な出会いがありました。それぞれの役割が機能していて、神様が多くの方の積まれた祈りに応え働いておられることを実感しました。

3. 証

今回参加を前に神様に祈っていた時に個人的に語られたことは、人からの言葉、反応に惑わされないこと、神様が自分をどのように見ておられ、何を期待してくださるかを忘れずに歩むことでした。実際宣教の場に出ていくと、普段自分が悩んだり、考えていることを、乗り越えなければ相手に神様の思いを伝えられない場面があり、シンプルに神様を見上げて乗り越えるということをしていただいたように思います。また、神様主導で始まった働きに、飯能キリスト教会の方々やそれぞれが従って進んでいる大きな流れにみんなが乗っかっているような雰囲気もあり、終わって振り返ると終始安心感のあるものでした。多くの方の祈りを感じました。背後で祈ってくださった方々、受け入れてくださった飯能キリスト教会の方々、リーダーやメンバー、最後まで守ってくださった神様に感謝します。ありがとうございました。

仲井 恵

1. 参加をした感想や印象に残っていること

今回で私は学院アウトリーチ3回目となりましたが、こんなにも事前に予想のつかないことは初めてでした。国内にしては10日間という長旅、例年より早々に決まっていた奉仕先、夏休み半ばに帰省先から学生が再集結してのアウトリーチ、その中で4日間行われる伝道大会、すべてがイレギュラーでした。数回のオンライン会議は行いましたが、直球勝負、特別なプログラムはないので、祈る以外には私たち学生側は何も企てておらず、まさに蓋を開けてみないとわからないといった心境でした。ただ、再び「教会の外で」多くの魂に福音を伝える！という使命を受け取ったご自身の強い意志のもと、奉仕に招いてくださった中澤イサク先生の熱意が、私たちを押し出しました。正直不安があり、同時に、主が何を体験させたいのか期待もありました。実際にイサク先生や飯能キリスト教会の皆さんにお会いした時に、イエス様の愛を感じ安心しました。私たちにも本当に良くしてくださり、主の働きのために喜んでご自身をささげておられるのを感じ、また進んで祈り、進んで預言し、進んで癒やしを求め、一人一人が主体的なのに、教会全体が一つのからだとされていることを感じました。

ただこのご時世、全く教会に来たことがなく、クリスチャンと関わりのない現代の日本人が、投函されていたチラシを目にしただけで、果たして来る気になるのか？という疑念がありました。しかし大会が始まってから、主は毎日「チラシを見て来ました」と言う新しい人を与え、その場で救われるという、聖霊のみわざを見せてくださいました。私たちにとっても主の憐れみを感じましたが、本当に人生に失望し、希望を求めて来られた方もおられ、神様は誰をも見捨てておられないことを再認識しました。この聖霊大会を通して、3名の方が救いを受け、教会から離れていた1名の方の再決心の機会となり、10名以上の未信者の方々に福音の種が届けられました。そして、2名の方が翌週の礼拝に早速集っていました。その日の礼拝は、神の家族が新たに加えられた天の喜びで満ちていました。はれるや。

2. 受けた恵み

私が最も感動したのは、主の心を受け取り、多くの経済をささげ（それも祈って主から与えられたとのこと！）、実際に救われた一人の魂を見て、この大会を行った意味があったと仰ったイサク先生の姿でした。例え、その場で救いや癒やしが起こらなかったとしても、目の前の主が招かれた魂に、集会を終えて帰られる最後までイエス様のことを熱心に宣べ伝えておられました。私は、ここまで主を愛したい、主が愛される魂の救いを願いたい、主からの「よくやった」という言葉のためにささげ尽くしたい、その飢え渇きが起こされました。御霊と御力の実演（イサク先生はそう訳されていました。）による宣教、主に信頼し御言葉を行った先に与えられる恵みを教えられました。

また10日間という長丁場、解放のミニストリーの実践という緊張感がある中で疲労困憊も覚悟したのですが、熱心なとりなし手の方々から常に祈られていたこと、教会の皆さんがとても気遣いもてなしてくださったので、本当にリラックスした状態で、十分に休み、食べ（料理上手な実習長長のおかげでもあります。）、よく交わり祈り合いながら仕えることができました。私だけでなくチーム全体が、期間中の霊肉魂が健康な状態であったと感じます。いちばん嬉しかったことは、一人一人が必要な役割を任せられ、主から受け取り、霊の導きによってそれを全うしていたことです。もちろんそれまでに多くの攻撃がありました。しかし今回集められたこの7名で最後まで、安息の中で、主の勝利を体験できたことを、心から嬉しく思います。

3. 証

もともと福音派の保守的な教会出身である私は、聖書に記された聖霊の超自然的な力を信じつつも、初めての方に癒やしや解放を勧め手を置いて祈るといのは、心のどこかで抵抗がありました。しかし、そんな私の恐れや先入観を手放すようにと、主のプッシュを感じました。その気づきの一環として、司会を準備されていた方の体調不良により、突然賛美リードや証を2日間させて頂く機会があったのですが、その奉仕を終えてから、自分が主の管としてささげきれたようにはどこか思えませんでした。賛美中も、確かに主の臨在を感じました。主が働かれるのであれば、言葉や方法によらず、人々は主に触れられ変えられます。しかし、前に立つ者にももちろん責任はあり、むしろこれは「主の戦い」とであると認め、本当に主にゆだねきらなければ、人間的な心配が働いたり後悔が残ってしまうことを実感しました。イサク先生は、ご自身の経験からも、失敗することは当前で、場数を踏み続けていくしかない、私たち神学生に何度も教えて下さっていました。落胆せずに続けること、常に備えていると同時に手放していること、何を解き放すべきか霊によって見極めていくことが、今後においても重要だと示されました。今回関わった方々に、主が流されたものだけが残りますようにと願い、それでもこの小さな器を用いてくださった主に感謝します。

最後に、大変お世話になりました、中澤イサク先生、奥様の道子さん、仲よくしてくれたまりえちゃん、かいとくん、女性陣を宿泊させてくださった島田姉妹、飯能キリスト教会の皆様、心から感謝いたします。学院長ご夫妻やスタッフを始め、とりなしてくださった方々、有り難うございました。そして、すべての栄光を私たちの主、イエス様に感謝しておささげします！

「そして、私のことばと私の宣教とは、説得力のある知恵のことばによって行われたものではなく、御霊と御力の実演（現れ）でした。それは、あなたがたの持つ信仰が、人間の知恵にささえられず、神の力にささえられるためでした。」 1コリント 2：4-5



伊藤ソジョン

1. 参加をした感想や印象に残っていること

最初に、コロナの影響もあって、集会を開いて人々を集めることが簡単ではないという固定観念を持っていました。しかし、準備の段階で中澤イサク先生と学生たちのやり取りの中で、これは人間的な動機ではなく、主からの出たことであると段々理解し、期待感が湧いて来ました。私自身も、長い間多くのクリスチャンの祈りの種が蒔かれて来たこの日本に、主が今年たましいの刈り取りの門を開いて下さるという確信が与えられていました。また、世界の各地のからも今年日本が特別に祈られ注目されているという預言と証も聞いていました。それで、今回のアウトリーチも正に主のご計画の大きな流れの中での一部として、日本の地域教会とチームワークをなしながら、私たち神学生7人が遣わされたのでした。

私が今回一番印象に残ったのは、飯能キリスト教会の皆さんの熱い祈りとまた主の声に単純に従う行動力です。イサク先生が今回主にサインとして求めて与えられた資金を惜しみなく捧げていました。まずは、集会の宣伝のチラシを新聞折り込みで地域に何回も配ったり、毎年市民クリスマスの会場として使われる結婚式場を集会場として借りました。また、神学生7人の交通費や食料や食事代など、神学生の謝礼まで提供して下さいました。それから、教会のメンバーたちが今回の集会のための心合わせて主に求める切なる祈りを通して、霊的な準備がなされていました。リバイバルを求めるなら、主に切に祈り求めて、実際に準備し動くことの大切さを見ることが出来たのは、何よりも貴重な体験でした。

「チラシを見て、人が来る。単純な福音を聞いて、人が救われる。早速日曜日の礼拝につながる。」これは、私たち神学生たちだけではなく、応援に来てくださった他の牧師たちの感想でもあったのです。主は生きておられ、今日も奇跡を起こすことが出来る方であると言うチャレンジと希望をもらいました。全ての栄光は主に返します。主は素晴らしい！

2. 受けた恵み

個人的な恵みとしては、癒しを受けたことです。出発の何日前からひどい腰痛が始まって10日間の奉仕が出来るかと言う恐れが来ました。その中で何人かに祈ってもらい少しは楽になったのですが、やっぱり痛みが消えなかったのです。その中で現地に着いてからも、イサク先生と兄弟姉妹からも毎日のように祈って頂いてから、8割ほど痛みが治まりました。集会の中にも癒しのための祈りの時には、毎回前に出て祈りを受けました。また、飯能キリスト教会の皆さんの中からも毎回何人も前に出てきて癒しの祈りを受けるので、私も前に出るのが自然な感じがして良かったです。帰って来てからも毎日の癒しの祈りをもって、恵みを維持して生きたいと思います。

3. 証

今回の大事なテーマは、若い世代が立ち上がり、油注ぎを受け取ることだと思います。今回のアウトリーチは奉仕よりも学びの恵みを受けることが多かったような気がします。平日の午前中、何回もあったイサク先生の解放の学びは、実践的な証しと経験だが多くて楽しかったです。今回色んな面で学んだことは、私たちの将来の貴重な霊の糧になると思います。

また、イサク先生の子どもたちとの交わりを持つことが出来て良かったです。信仰を持っている若い世代がほとんどいない環境で、それこそ今回の学生たちは、おもに 20、30 代なので、それはピッタリの状況でした。最後の集会が終わってからの交わり会に誘ったら、最初は参加することに迷いがあったようですが、いざと参加したらとても良かったそうでした。信仰の面でもよい励ましとチャレンジになったと確信します。飯能キリスト教会の皆さんと救われた方々、また福音の種が蒔かれた方々、今回主が出合わせて下さった一人一人の顔を覚えて続けてとりなし祈って行きたいと思います。全ての中で働き、導き、守って下さった主に感謝します。

Holy Spirit Assembly

